

## 医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	産科的、麻酔科的ハイリスク妊婦を麻酔科医が事前に把握、診察することの効果と課題
研究責任者	秋永 智永子
研究機関名	浜松医科大学医学部附属病院
研究目的と意義	近年、合併症を有する妊婦は増加しており、緊急帝王切開では、時間の猶予がなく、患者の情報を十分把握できないまま麻酔せざるをえない場合がある。分娩様式にかかわらず、緊急帝王切開となる場合に備えてハイリスク妊婦を予め麻酔科が診察することは、安全な麻酔管理につながることを期待される。予め麻酔科診察を行うことが緊急帝王切開の安全性につながっているかどうかを後ろ向きに評価する。
研究期間	西暦2016年12月（倫理委員会承認後）～2021年11月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 2014年1月から2016年11月までに浜松医科大学医学部附属病院で出産された患者さん</p> <p>●研究に使用する試料： (1) 麻酔科医による診察用紙 (2) 麻酔の記録用紙</p> <p>●研究方法 緊急帝王切開術を受けた患者さんでは、麻酔科医による診察用紙と麻酔記録用紙から、出産前の患者さんの合併症や妊娠中の経過、分娩の経過と分娩法、分娩後の患者さんの状態や生まれた赤ちゃんの状態に関するデータを抽出します。あらかじめ麻酔科医が診察していた患者さんのデータと麻酔科医が手術直前に診察した患者さんのデータを比較します。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：周産母子センター 担当者：秋永智永子 TEL：053-435-2286 FAX：053-435-2738 E-mail：